

問11 日本とロシアの間に北方領土をめぐる問題がありますが、あなたは、北方領土についてどの程度知っていますか。次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

全体

- 「北方領土をめぐる問題について、大まかな内容がわかっている」(51.7%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「北方領土の四つの島の名前がわかる程度」(22.5%)、「北方領土をめぐる問題について、よくわかっている」(12.0%)の順となっている。
- 「よくわからない」(2.1%)は少ない。

圏域別

- 「北方領土をめぐる問題について、大まかな内容がわかっている」の割合は、釧路・根室圏(65.9%)が最も高く、道央圏(53.7%)が次いでいる。
- 「北方領土の四つの島の名前がわかる程度」の割合は、オホーツク圏(32.4%)が最も高く、道北圏(26.9%)が次いでいる。

人口規模別

- 「北方領土をめぐる問題について、大まかな内容がわかっている」の割合は、札幌市(53.3%)が最も高く、人口10万人以上の市(52.6%)が次いでいる。
- 「北方領土の四つの島の名前がわかる程度」の割合は、町村部(23.9%)が最も高く、人口10万人未満の市(22.2%)が次いでいる。

性別

- 「北方領土をめぐる問題について、大まかな内容がわかっている」の割合は、女性(47.9%)より、男性(57.7%)の方が多い。
- 「北方領土の四つの島の名前がわかる程度」の割合は、男性(13.1%)より、女性(29.9%)の方が多い。

年代別

- 「北方領土をめぐる問題について、大まかな内容がわかっている」の割合は、70歳以上(59.0%)が最も高く、60～69歳(58.6%)が拮抗して次いでいる。
- 「北方領土の四つの島の名前がわかる程度」の割合は、18～29歳(28.8%)が最も高く、40～49歳(28.3%)が次いでいる。

職業別

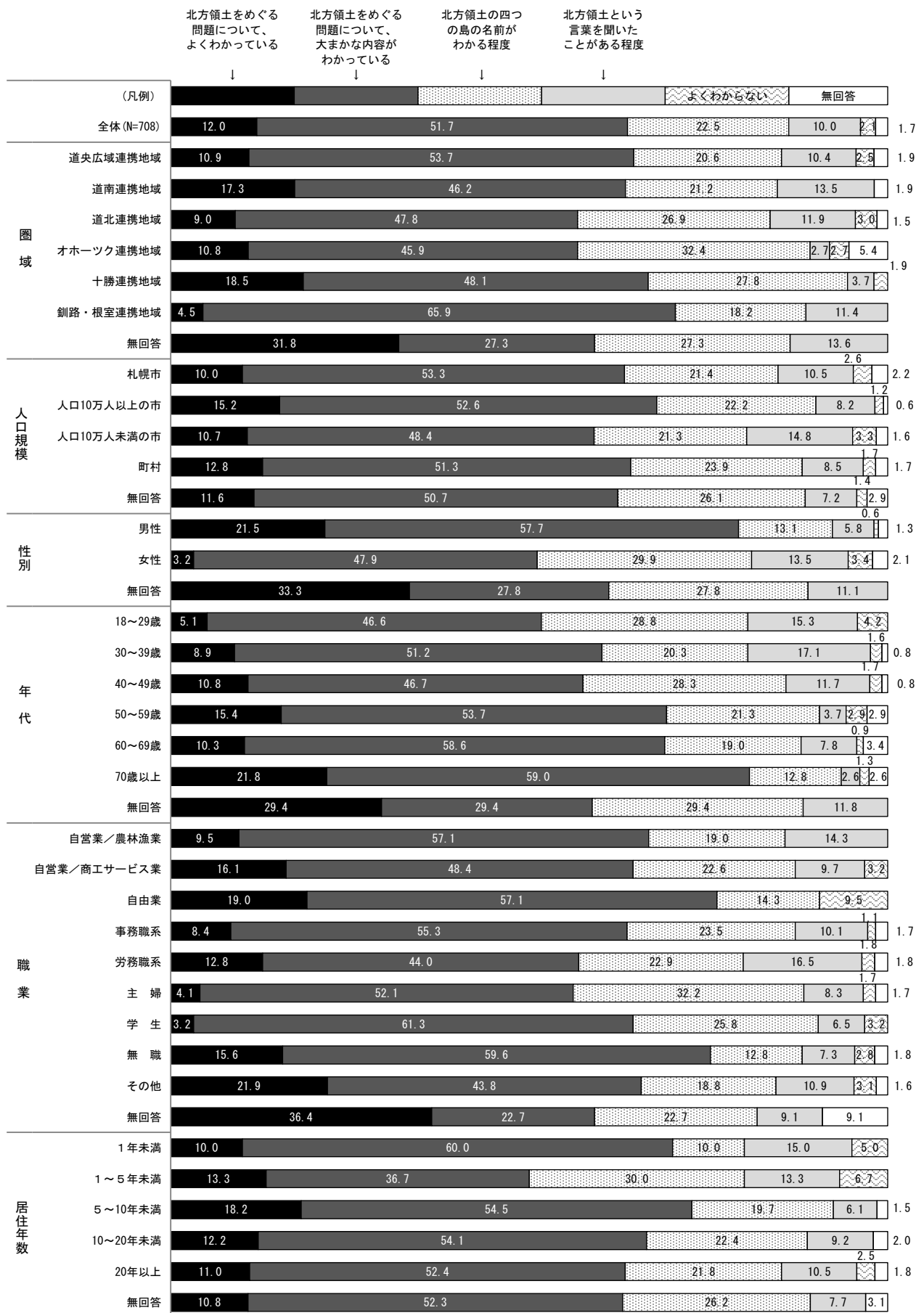
- 「北方領土をめぐる問題について、大まかな内容がわかっている」の割合は、学生(61.3%)が最も高く、無職(59.6%)が次いでいる。
- 「北方領土の四つの島の名前がわかる程度」の割合は、主婦(32.2%)が最も高く、学生(25.8%)が次いでいる。

居住年数別

- 「北方領土をめぐる問題について、大まかな内容がわかっている」の割合は、1年未満(60.0%)が最も高く、5～10年未満(54.5%)が次いでいる。
- 「北方領土の四つの島の名前がわかる程度」の割合は、1～5年未満(30.0%)が最も高く、10～20年未満(22.4%)が次いでいる。

3 北方領土問題について

■ 北方領土問題の認識度 (N=708)



注) 出現率が0.0%のものは図中では数値表記を略している

■ 北方領土問題の認識度 (N=708)

	サンプル数	てに北方領土をめぐり、よくわかっている	容に北方領土をめぐり、大まかな内容がわかっていて、いまさら問題に感じない	名前がわかる程度の認識	聞いたことがある程度	よくわからない	無回答	
全体	708	12.0	51.7	22.5	10.0	2.1	1.7	
圏域	道央広域連携地域	432	10.9	53.7	20.6	10.4	2.5	1.9
	道南連携地域	52	17.3	46.2	21.2	13.5	0.0	1.9
	道北連携地域	67	9.0	47.8	26.9	11.9	3.0	1.5
	オホーツク連携地域	37	10.8	45.9	32.4	2.7	2.7	5.4
	十勝連携地域	54	18.5	48.1	27.8	3.7	1.9	0.0
	釧路・根室連携地域	44	4.5	65.9	18.2	11.4	0.0	0.0
	無回答	22	31.8	27.3	27.3	13.6	0.0	0.0
人口規模	札幌市	229	10.0	53.3	21.4	10.5	2.6	2.2
	人口10万人以上の市	171	15.2	52.6	22.2	8.2	1.2	0.6
	人口10万人未満の市	122	10.7	48.4	21.3	14.8	3.3	1.6
	町村	117	12.8	51.3	23.9	8.5	1.7	1.7
	無回答	69	11.6	50.7	26.1	7.2	1.4	2.9
性別	男性	312	21.5	57.7	13.1	5.8	0.6	1.3
	女性	378	3.2	47.9	29.9	13.5	3.4	2.1
	無回答	18	33.3	27.8	27.8	11.1	0.0	0.0
年代	18～29歳	118	5.1	46.6	28.8	15.3	4.2	0.0
	30～39歳	123	8.9	51.2	20.3	17.1	1.6	0.8
	40～49歳	120	10.8	46.7	28.3	11.7	1.7	0.8
	50～59歳	136	15.4	53.7	21.3	3.7	2.9	2.9
	60～69歳	116	10.3	58.6	19.0	7.8	0.9	3.4
	70歳以上	78	21.8	59.0	12.8	2.6	1.3	2.6
	無回答	17	29.4	29.4	29.4	11.8	0.0	0.0
職業	自営業／農林漁業	21	9.5	57.1	19.0	14.3	0.0	0.0
	自営業／商工サービス業	31	16.1	48.4	22.6	9.7	3.2	0.0
	自由業	21	19.0	57.1	14.3	0.0	9.5	0.0
	事務職系	179	8.4	55.3	23.5	10.1	1.1	1.7
	労務職系	109	12.8	44.0	22.9	16.5	1.8	1.8
	主婦	121	4.1	52.1	32.2	8.3	1.7	1.7
	学生	31	3.2	61.3	25.8	6.5	3.2	0.0
	無職	109	15.6	59.6	12.8	7.3	2.8	1.8
	その他	64	21.9	43.8	18.8	10.9	3.1	1.6
	無回答	22	36.4	22.7	22.7	9.1	0.0	9.1
居住年数	1年未満	20	10.0	60.0	10.0	15.0	5.0	0.0
	1～5年未満	60	13.3	36.7	30.0	13.3	6.7	0.0
	5～10年未満	66	18.2	54.5	19.7	6.1	0.0	1.5
	10～20年未満	98	12.2	54.1	22.4	9.2	0.0	2.0
	20年以上	399	11.0	52.4	21.8	10.5	2.5	1.8
無回答	65	10.8	52.3	26.2	7.7	0.0	3.1	

問12 ※「問11」で選択肢1～4を選んだ方のみお答えください。
北方領土問題を何から知りましたか。次の中からいくつでもお選びください。
(○は複数可)

全体

- 「テレビ・ラジオ」(82.7%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「新聞」(60.4%)、「学校の授業」(42.3%)の順となっている。
- 「映画『ジョバンニの島』」(0.9%)や「よくわからない」(0.4%)は少ない。

圏域別

- 「テレビ・ラジオ」の割合は、十勝圏(84.9%)が最も高く、道央圏(84.3%)が次いでいる。
- 「新聞」の割合は、十勝圏(73.6%)が最も高く、道南圏(72.5%)が次いでいる。

人口規模別

- 「テレビ・ラジオ」の割合は、町村部(86.7%)が最も高く、札幌市(83.9%)が次いでいる。
- 「新聞」の割合は、町村部(64.6%)が最も高く、人口10万人以上の市(62.5%)が次いでいる。

性別

- 「テレビ・ラジオ」の割合は、男性(81.0%)より、女性(84.3%)の方が多い。
- 「新聞」の割合は、女性(55.5%)より、男性(67.3%)の方が多い。

年代別

- 「テレビ・ラジオ」の割合は、60～69歳(91.0%)が最も高く、70歳以上(86.7%)が次いでいる。
- 「新聞」の割合は、70歳以上(92.0%)が最も高く、60～69歳(82.9%)が次いでいる。

職業別

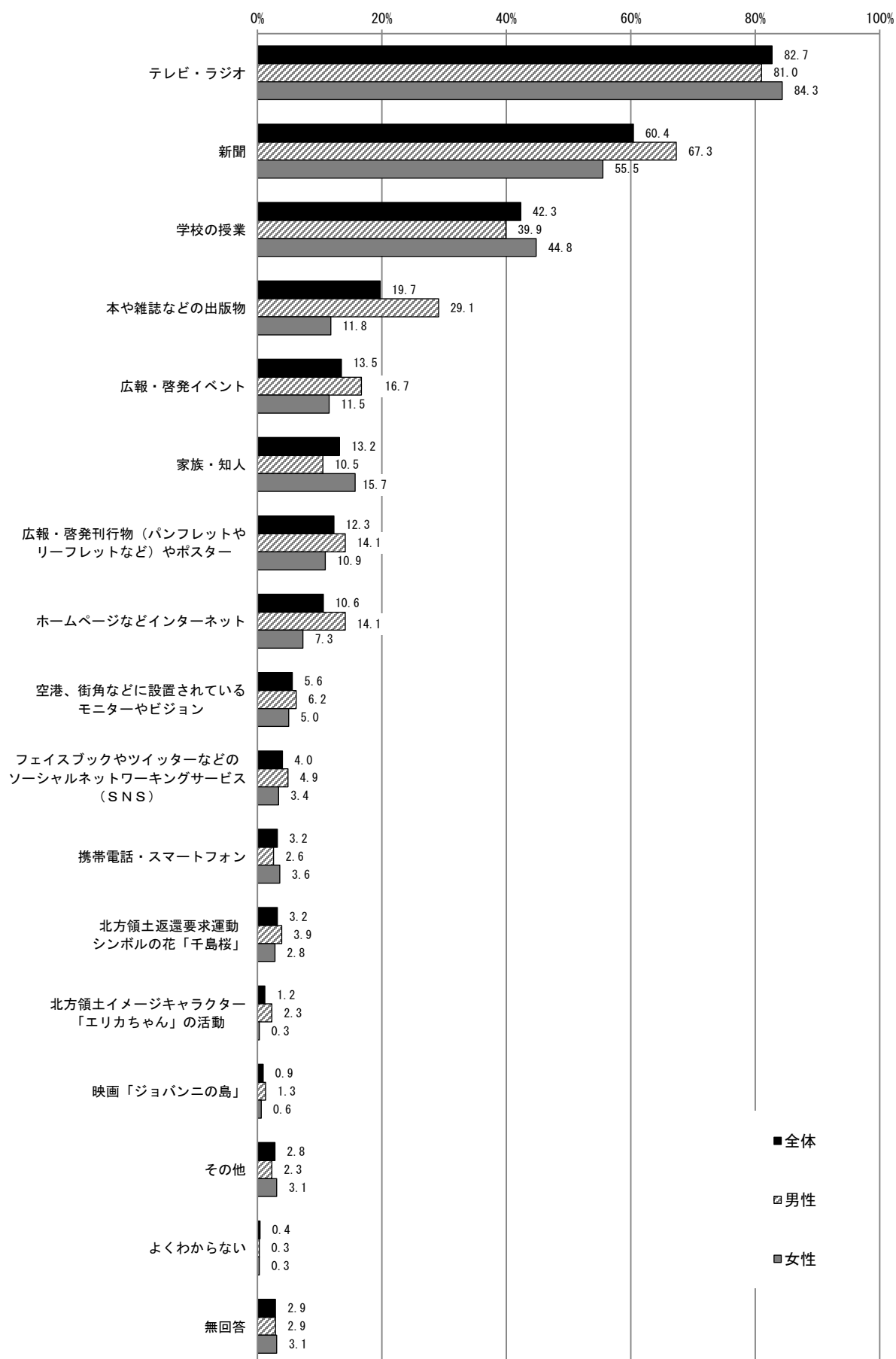
- 「テレビ・ラジオ」の割合は、自由業(94.7%)が最も高く、主婦(88.0%)が次いでいる。
- 「新聞」の割合は、自由業(84.2%)が最も高く、無職(81.7%)が次いでいる。

居住年数別

- 「テレビ・ラジオ」の割合は、1～5年未満(85.7%)が最も高く、1年未満(84.2%)が次いでいる。
- 「新聞」の割合は、5～10年未満(64.6%)が最も高く、20年以上(61.3%)が次いでいる。

3 北方領土問題について

■ 北方領土問題の認知経路 (N=681)



3 北方領土問題について

■ 北方領土問題の認知経路 (N=681)

	サンプル数	テレビ・ラジオ	新聞	本や雑誌などの出版物	ホームページなどインターネット	フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)	携帯電話・スマートフォン	学校の授業	家族・知人	広報・啓発イベント	広報・啓発刊行物(パンフレットやリーフレットなど)やポスター	北方領土返還要求運動シンポルの花「千島桜」	北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」の活動	映画「ジョパンニの島」	空港、街角などに設置されているモニターやビジョン	その他	よくわからない	無回答	
(%)																			
全体	681	82.7	60.4	19.7	10.6	4.0	3.2	42.3	13.2	13.5	12.3	3.2	1.2	0.9	5.6	2.8	0.4	2.9	
圏域	道央広域連携地域	413	84.3	57.1	17.2	8.5	2.4	3.9	44.8	12.3	10.2	10.2	2.4	0.5	0.5	5.3	2.4	0.0	3.4
	道南連携地域	51	76.5	72.5	23.5	9.8	5.9	2.0	37.3	13.7	23.5	13.7	2.0	0.0	3.9	7.8	2.0	0.0	3.9
	道北連携地域	64	81.3	59.4	23.4	14.1	1.6	3.1	42.2	12.5	17.2	9.4	3.1	1.6	0.0	3.1	4.7	1.6	3.1
	オホーツク連携地域	34	82.4	61.8	29.4	20.6	11.8	0.0	50.0	11.8	26.5	26.5	11.8	0.0	0.0	5.9	2.9	0.0	0.0
	十勝連携地域	53	84.9	73.6	22.6	11.3	11.3	3.8	35.8	20.8	15.1	17.0	7.5	7.5	0.0	5.7	1.9	1.9	0.0
	釧路・根室連携地域	44	75.0	72.7	25.0	15.9	6.8	0.0	34.1	15.9	20.5	20.5	2.3	2.3	4.5	9.1	4.5	0.0	4.5
	無回答	22	81.8	36.4	13.6	13.6	0.0	4.5	27.3	9.1	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5	0.0
人口規模	札幌市	218	83.9	60.6	17.4	6.9	1.4	4.6	44.5	13.3	8.3	7.3	2.3	0.9	0.9	4.6	2.8	0.0	3.2
	人口10万人以上の市	168	79.2	62.5	19.0	10.7	3.0	1.8	41.1	13.1	16.7	12.5	3.0	1.2	0.6	6.0	3.6	0.6	3.6
	人口10万人未満の市	116	79.3	49.1	25.9	14.7	5.2	1.7	48.3	12.1	19.0	16.4	2.6	0.9	1.7	8.6	0.9	0.0	3.4
	町村	113	86.7	64.6	23.0	15.9	9.7	4.4	38.9	16.8	15.0	19.5	4.4	2.7	0.0	5.3	4.4	1.8	2.7
無回答	66	86.4	66.7	12.1	6.1	3.0	3.0	33.3	9.1	10.6	9.1	6.1	0.0	1.5	3.0	1.5	0.0	0.0	
性別	男性	306	81.0	67.3	29.1	14.1	4.9	2.6	39.9	10.5	16.7	14.1	3.9	2.3	1.3	6.2	2.3	0.3	2.9
	女性	357	84.3	55.5	11.8	7.3	3.4	3.6	44.8	15.7	11.5	10.9	2.8	0.3	0.6	5.0	3.1	0.3	3.1
	無回答	18	77.8	38.9	16.7	16.7	0.0	5.6	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0	
年代	18～29歳	113	71.7	35.4	11.5	14.2	8.8	4.4	71.7	11.5	8.0	5.3	0.0	0.0	0.0	4.4	1.8	0.0	8.0
	30～39歳	120	83.3	44.2	18.3	20.0	5.8	5.8	55.8	10.0	10.8	13.3	2.5	2.5	0.8	9.2	0.0	1.7	5.0
	40～49歳	117	81.2	59.0	13.7	13.7	3.4	2.6	54.7	13.7	16.2	12.0	1.7	1.7	0.9	3.4	2.6	0.0	0.0
	50～59歳	128	84.4	64.1	20.3	7.0	4.7	3.1	32.8	12.5	9.4	7.8	2.3	1.6	1.6	3.9	3.9	0.0	3.9
	60～69歳	111	91.0	82.9	25.2	3.6	0.0	1.8	16.2	10.8	15.3	10.8	3.6	0.0	0.0	7.2	3.6	0.0	0.0
	70歳以上	75	86.7	92.0	36.0	0.0	0.0	0.0	13.3	25.3	29.3	33.3	13.3	1.3	2.7	5.3	5.3	0.0	0.0
	無回答	17	76.5	35.3	11.8	17.6	0.0	5.9	35.3	11.8	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0
職業	自営業/農林漁業	21	81.0	66.7	14.3	14.3	0.0	0.0	28.6	9.5	4.8	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
	自営業/商サービス業	30	83.3	63.3	43.3	23.3	13.3	6.7	33.3	20.0	26.7	23.3	13.3	3.3	3.3	20.0	6.7	0.0	3.3
	自由業	19	94.7	84.2	31.6	21.1	21.1	10.5	42.1	15.8	21.1	15.8	0.0	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3
	事務職系	174	82.2	56.9	19.0	14.9	4.0	2.3	53.4	12.6	9.8	11.5	2.3	1.7	1.7	5.2	2.3	0.0	3.4
	労務職系	105	75.2	48.6	18.1	12.4	3.8	3.8	48.6	8.6	18.1	11.4	0.0	1.0	0.0	6.7	2.9	0.0	4.8
	主婦	117	88.0	66.7	12.8	6.0	2.6	1.7	36.8	16.2	14.5	13.7	3.4	0.9	0.0	5.1	2.6	0.0	3.4
	学生	30	80.0	33.3	16.7	6.7	10.0	6.7	80.0	13.3	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	無職	104	83.7	81.7	26.0	4.8	1.0	1.9	18.3	14.4	15.4	16.3	5.8	1.0	1.0	2.9	2.9	0.0	1.0
	その他	61	83.6	52.5	16.4	3.3	1.6	4.9	45.9	13.1	11.5	6.6	3.3	0.0	1.6	4.9	4.9	1.6	3.3
	無回答	20	80.0	35.0	15.0	15.0	0.0	5.0	30.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0
居住年数	1年未満	19	84.2	36.8	26.3	5.3	0.0	10.5	47.4	15.8	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
	1～5年未満	56	85.7	55.4	32.1	39.3	17.9	1.8	48.2	5.4	17.9	19.6	1.8	1.8	1.8	12.5	1.8	0.0	3.6
	5～10年未満	65	80.0	64.6	33.8	30.8	10.8	4.6	47.7	18.5	15.4	20.0	6.2	6.2	1.5	4.6	3.1	1.5	1.5
	10～20年未満	96	79.2	57.3	11.5	7.3	3.1	5.2	46.9	17.7	13.5	11.5	2.1	0.0	1.0	6.3	1.0	1.0	2.1
	20年以上	382	83.0	61.3	18.3	4.7	1.3	2.4	40.3	13.1	13.1	11.0	3.1	0.8	0.5	5.2	3.7	0.3	3.7
無回答	63	85.7	66.7	12.7	6.3	3.2	3.2	34.9	7.9	11.1	9.5	4.8	0.0	1.6	3.2	1.6	0.0	0.0	

問13 ※「問11」で選択肢1～4を選んだ方のみお答えください。
あなたは、北方領土をめぐる問題について、どの程度関心がありますか。次の中から1つだけお選びください。(○は1つ)

全体

- 「少し関心がある」(47.1%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「あまり関心がない」(27.6%)、「とても関心がある」(17.3%)の順となっている。
- 「少し関心がある」(47.1%)、「とても関心がある」(17.3%)とした、関心がある割合は計64.4%である。逆に、「あまり関心がない」(27.6%)、「全く関心がない」(3.4%)とした関心がない割合は31.0%である。

圏域別

- 「少し関心がある」の割合は、道南圏(52.9%)が最も高く、道央圏(49.6%)が次いでいる。
- 「あまり関心がない」の割合は、オホーツク圏(41.2%)が最も高く、道央圏(27.6%)が次いでいる。

人口規模別

- 「少し関心がある」の割合は、札幌市(50.5%)が最も高く、人口10万人以上の市(47.0%)が次いでいる。
- 「あまり関心がない」の割合は、人口10万人未満の市(32.8%)が最も高く、人口10万人以上の市(27.4%)が次いでいる。

性別

- 「少し関心がある」の割合は、男性(46.1%)より、女性(49.6%)の方がやや多い。
- 「あまり関心がない」の割合も、男性(18.6%)より、女性(33.9%)の方が多い。

年代別

- 「少し関心がある」の割合は、60～69歳(60.4%)が最も高く、40～49歳(51.3%)が次いでいる。
- 「あまり関心がない」の割合は、18～29歳(40.7%)が最も高く、40～49歳(37.6%)が次いでいる。

職業別

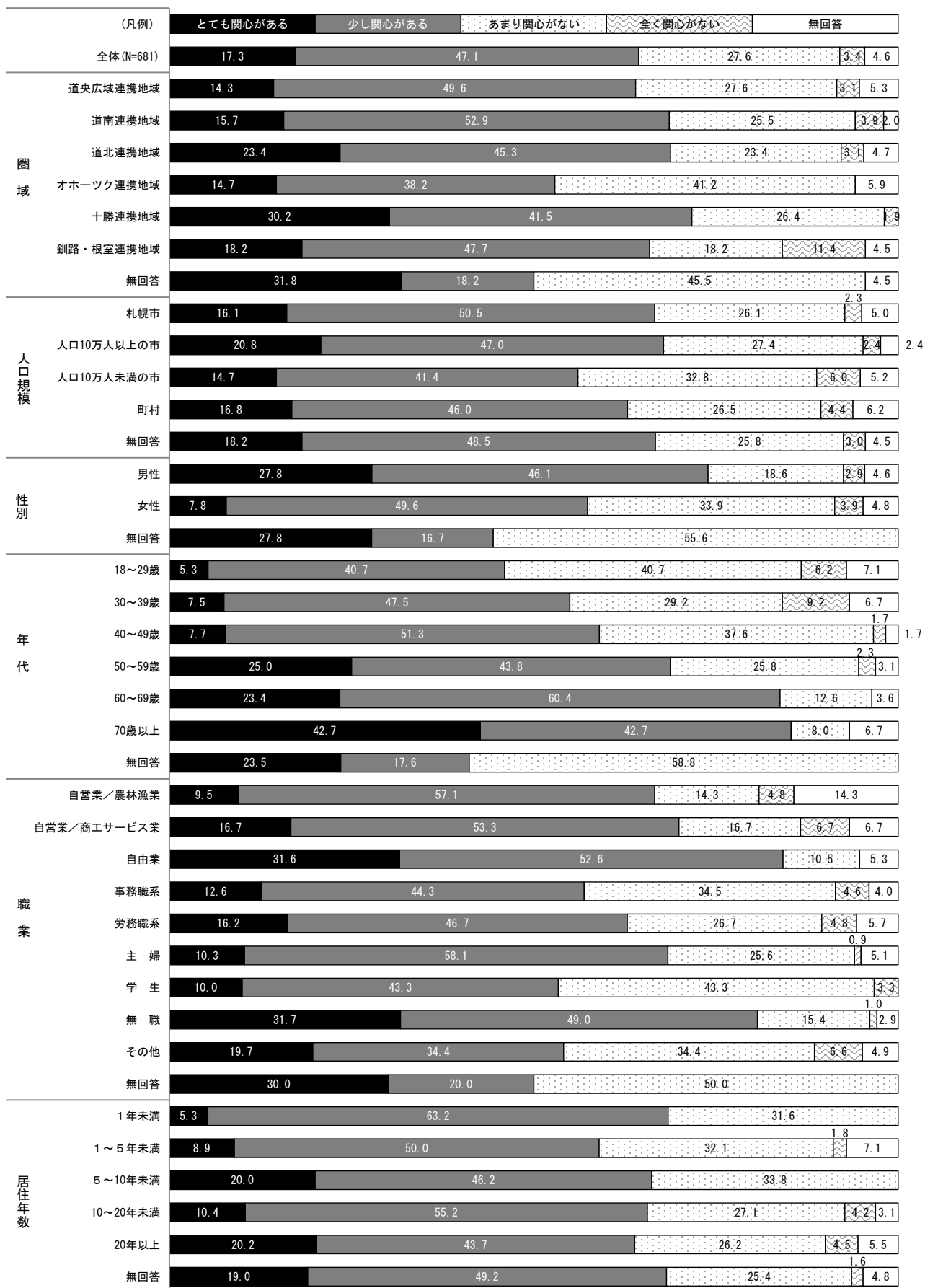
- 「少し関心がある」の割合は、主婦(58.1%)が最も高く、自営業/農林漁業(57.1%)が次いでいる。
- 「あまり関心がない」の割合は、学生(43.3%)が最も高く、事務職系(34.5%)が次いでいる。

居住年数別

- 「少し関心がある」の割合は、1年未満(63.2%)が最も高く、10～20年未満(55.2%)が次いでいる。
- 「あまり関心がない」の割合は、5～10年未満(33.8%)が最も高く、1～5年未満(32.1%)が次いでいる。

3 北方領土問題について

■ 北方領土問題の関心度 (N=681)



注) 出現率が0.0%のものは図中では数値表記を略している

3 北方領土問題について

■ 北方領土問題の関心度 (N=681)

	サンプル数	とても関心がある	少し関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答	
(%)							
全体	681	17.3	47.1	27.6	3.4	4.6	
圏域	道央広域連携地域	413	14.3	49.6	27.6	3.1	5.3
	道南連携地域	51	15.7	52.9	25.5	3.9	2.0
	道北連携地域	64	23.4	45.3	23.4	3.1	4.7
	オホーツク連携地域	34	14.7	38.2	41.2	0.0	5.9
	十勝連携地域	53	30.2	41.5	26.4	1.9	0.0
	釧路・根室連携地域	44	18.2	47.7	18.2	11.4	4.5
	無回答	22	31.8	18.2	45.5	0.0	4.5
人口規模	札幌市	218	16.1	50.5	26.1	2.3	5.0
	人口10万人以上の市	168	20.8	47.0	27.4	2.4	2.4
	人口10万人未満の市	116	14.7	41.4	32.8	6.0	5.2
	町村	113	16.8	46.0	26.5	4.4	6.2
	無回答	66	18.2	48.5	25.8	3.0	4.5
性別	男性	306	27.8	46.1	18.6	2.9	4.6
	女性	357	7.8	49.6	33.9	3.9	4.8
	無回答	18	27.8	16.7	55.6	0.0	0.0
年代	18～29歳	113	5.3	40.7	40.7	6.2	7.1
	30～39歳	120	7.5	47.5	29.2	9.2	6.7
	40～49歳	117	7.7	51.3	37.6	1.7	1.7
	50～59歳	128	25.0	43.8	25.8	2.3	3.1
	60～69歳	111	23.4	60.4	12.6	0.0	3.6
	70歳以上	75	42.7	42.7	8.0	0.0	6.7
	無回答	17	23.5	17.6	58.8	0.0	0.0
職業	自営業／農林漁業	21	9.5	57.1	14.3	4.8	14.3
	自営業／商工サービス業	30	16.7	53.3	16.7	6.7	6.7
	自由業	19	31.6	52.6	10.5	0.0	5.3
	事務職系	174	12.6	44.3	34.5	4.6	4.0
	労務職系	105	16.2	46.7	26.7	4.8	5.7
	主婦	117	10.3	58.1	25.6	0.9	5.1
	学生	30	10.0	43.3	43.3	3.3	0.0
	無職	104	31.7	49.0	15.4	1.0	2.9
	その他	61	19.7	34.4	34.4	6.6	4.9
	無回答	20	30.0	20.0	50.0	0.0	0.0
居住年数	1年未満	19	5.3	63.2	31.6	0.0	0.0
	1～5年未満	56	8.9	50.0	32.1	1.8	7.1
	5～10年未満	65	20.0	46.2	33.8	0.0	0.0
	10～20年未満	96	10.4	55.2	27.1	4.2	3.1
	20年以上	382	20.2	43.7	26.2	4.5	5.5
	無回答	63	19.0	49.2	25.4	1.6	4.8

問14 あなたは、道や各団体が実施している啓発活動について、どのような内容を知っていますか。次の中からいくつでもお選びください。（○は複数可）

全体

- 「返還署名運動」（60.0%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「啓発活動について特に知らない」（28.1%）、「ポスターの掲示やリーフレット等の配布」（21.8%）の順となっている。
- 「ホームページやメールマガジン」（6.2%）、「フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービス（SNS）」（4.0%）などは少ない。

圏域別

- 「返還署名運動」の割合は、釧路・根室圏（88.6%）が最も高く、十勝圏（74.1%）が次いでいる。
- 「啓発活動について特に知らない」の割合は、道北圏（34.3%）が最も高く、道央圏（31.0%）が次いでいる。

人口規模別

- 「返還署名運動」の割合は、町村部（70.1%）が最も高く、人口10万人以上の市（61.4%）が次いでいる。
- 「啓発活動について特に知らない」の割合は、札幌市（36.7%）が最も高く、人口10万人未満の市（27.0%）が次いでいる。

性別

- 「返還署名運動」の割合は、女性（56.3%）より、男性（64.7%）の方が多い。
- 「啓発活動について特に知らない」の割合は、男性（22.8%）より、女性（31.7%）の方が多い。

年代別

- 「返還署名運動」の割合は、70歳以上（71.8%）が最も高く、50～59歳（61.0%）が次いでいる。
- 「啓発活動について特に知らない」の割合は、18～29歳（35.6%）が最も高く、50～59歳（28.7%）が次いでいる。

職業別

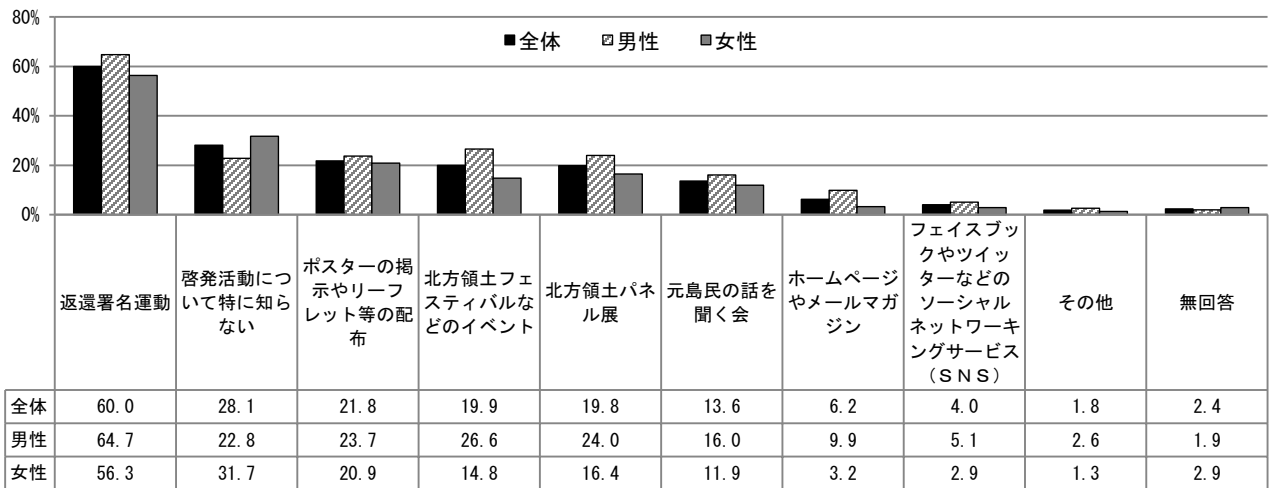
- 「返還署名運動」の割合は、自営業/商工サービス業（77.4%）が最も高く、自営業/農林漁業（66.7%）が次いでいる。
- 「啓発活動について特に知らない」の割合は、自由業（33.3%）が最も高く、労務職系（33.0%）が次いでいる。

居住年数別

- 「返還署名運動」の割合は、5～10年未満（71.2%）が最も高く、1～5年未満（66.7%）が次いでいる。
- 「啓発活動について特に知らない」の割合は、1年未満（50.0%）が最も高く、10～20年未満（31.6%）が次いでいる。

3 北方領土問題について

■ 北方領土返還に向けた啓発運動の認知 (N=708)



	サンプル数	返還署名運動	北方領土フェスティバルなどのイベント	北方領土パネル展	ホームページやメールマガジン	グダのソーシャルネットワーキングサービス(SNS)	元島民の話を聞く会	ポスターの掲示やリーフレット	啓発活動について特に知らない	その他	無回答	
全体	708	60.0	19.9	19.8	6.2	4.0	13.6	21.8	28.1	1.8	2.4	
圏域	道央広域連携地域	432	56.9	17.8	16.9	5.3	2.8	11.8	19.4	31.0	2.3	2.8
	道南連携地域	52	59.6	23.1	25.0	5.8	5.8	19.2	28.8	19.2	1.9	3.8
	道北連携地域	67	50.7	10.4	19.4	3.0	3.0	10.4	26.9	34.3	0.0	1.5
	オホーツク連携地域	37	64.9	29.7	29.7	13.5	8.1	13.5	32.4	21.6	0.0	2.7
	十勝連携地域	54	74.1	25.9	25.9	9.3	5.6	24.1	22.2	20.4	3.7	0.0
	釧路・根室連携地域	44	88.6	40.9	27.3	11.4	9.1	20.5	27.3	9.1	0.0	0.0
	無回答	22	50.0	9.1	18.2	4.5	4.5	4.5	4.5	40.9	0.0	4.5
人口規模	札幌市	229	54.1	17.5	18.3	4.4	3.1	9.2	17.9	36.7	1.3	2.2
	人口10万人以上の市	171	61.4	21.6	16.4	7.0	1.8	14.0	22.2	25.7	2.3	1.2
	人口10万人未満の市	122	60.7	18.0	17.2	7.4	2.5	15.6	26.2	27.0	2.5	1.6
	町村	117	70.1	23.9	29.9	11.1	11.1	20.5	25.6	19.7	0.9	4.3
	無回答	69	58.0	20.3	20.3	0.0	2.9	11.6	18.8	21.7	2.9	4.3
性別	男性	312	64.7	26.6	24.0	9.9	5.1	16.0	23.7	22.8	2.6	1.9
	女性	378	56.3	14.8	16.4	3.2	2.9	11.9	20.9	31.7	1.3	2.9
	無回答	18	55.6	11.1	16.7	5.6	5.6	5.6	5.6	44.4	0.0	0.0
	年代	18~29歳	118	54.2	11.9	14.4	9.3	7.6	15.3	15.3	35.6	0.8
30~39歳		123	60.2	21.1	17.1	11.4	6.5	8.9	22.0	27.6	0.8	2.4
40~49歳		120	60.0	15.8	20.0	8.3	5.8	13.3	28.3	26.7	0.8	0.8
50~59歳		136	61.0	21.3	22.1	1.5	1.5	13.2	19.9	28.7	2.9	1.5
60~69歳		116	57.8	24.1	20.7	5.2	0.9	12.1	20.7	26.7	1.7	6.0
70歳以上		78	71.8	29.5	26.9	0.0	0.0	23.1	29.5	16.7	5.1	3.8
無回答		17	52.9	11.8	17.6	5.9	5.9	5.9	5.9	47.1	0.0	0.0
職業	自営業/農林漁業	21	66.7	19.0	9.5	4.8	4.8	9.5	9.5	19.0	4.8	9.5
	自営業/商工サービス業	31	77.4	48.4	35.5	12.9	12.9	16.1	29.0	19.4	3.2	3.2
	自由業	21	57.1	38.1	19.0	14.3	4.8	33.3	28.6	33.3	0.0	0.0
	事務職系	179	61.5	16.8	17.9	7.8	5.6	12.8	22.9	24.0	1.1	2.2
	労務職系	109	56.9	16.5	21.1	7.3	4.6	12.8	24.8	33.0	0.9	0.9
	主婦	121	57.9	18.2	19.8	5.0	2.5	9.1	23.1	32.2	0.0	2.5
	学生	31	58.1	9.7	6.5	12.9	3.2	16.1	19.4	32.3	3.2	0.0
	無職	109	63.3	22.9	25.7	1.8	0.9	16.5	18.3	22.9	4.6	2.8
	その他	64	56.3	21.9	17.2	1.6	1.6	15.6	21.9	31.3	1.6	1.6
	無回答	22	45.5	9.1	13.6	4.5	4.5	4.5	4.5	40.9	4.5	9.1
居住年数	1年未満	20	45.0	15.0	20.0	10.0	5.0	15.0	0.0	50.0	5.0	0.0
	1~5年未満	60	66.7	26.7	16.7	21.7	10.0	11.7	30.0	23.3	1.7	1.7
	5~10年未満	66	71.2	33.3	30.3	21.2	12.1	18.2	25.8	25.8	0.0	0.0
	10~20年未満	98	53.1	15.3	18.4	3.1	2.0	12.2	24.5	31.6	0.0	2.0
	20年以上	399	60.2	18.0	18.5	3.0	2.3	13.8	20.6	28.1	2.3	3.0
	無回答	65	56.9	20.0	21.5	0.0	3.1	10.8	20.0	23.1	3.1	3.1

問15 運動の中心である北方四島の元島民等も高齢化が進む現状において、今後、若い世代の関心を高めるためには、あなたは、どのような取組が重要だと思いますか。次の中から2つまでお選びください。（○は2つ以内）

全体

- 「学校における北方領土教育の充実」（63.6%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「講演会など北方領土について学ぶ機会の充実」（18.8%）、「フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を用いた広報・啓発の充実」（18.6%）の順となっている。
- 「ホームページやメールマガジンなど電子媒体での情報提供の充実」（7.1%）、「元島民の話を聞く機会の拡充」（10.6%）などは少ない。

圏域別

- 「学校における北方領土教育の充実」の割合は、釧路・根室圏（68.2%）が最も高く、十勝圏（66.7%）が次いでいる。
- 「講演会など北方領土について学ぶ機会の充実」の割合は、十勝圏（27.8%）が最も高く、道南圏（25.0%）が次いでいる。

人口規模別

- 「学校における北方領土教育の充実」の割合は、札幌市（65.1%）が最も高く、人口10万人未満の市（63.9%）が次いでいる。
- 「講演会など北方領土について学ぶ機会の充実」の割合は、人口10万人以上の市（21.6%）が最も高く、町村部（20.5%）が次いでいる。

性別

- 「学校における北方領土教育の充実」の割合は、女性（62.2%）より、男性（66.0%）の方がやや多い。
- 「講演会など北方領土について学ぶ機会の充実」の割合も、女性（15.3%）より、男性（23.1%）の方が多い。

年代別

- 「学校における北方領土教育の充実」の割合は、40～49歳（42.3%）が最も高く、70歳以上（66.7%）が次いでいる。
- 「講演会など北方領土について学ぶ機会の充実」の割合は、70歳以上（42.3%）が突出して最も高く、60～69歳（19.0%）が次いでいる。

職業別

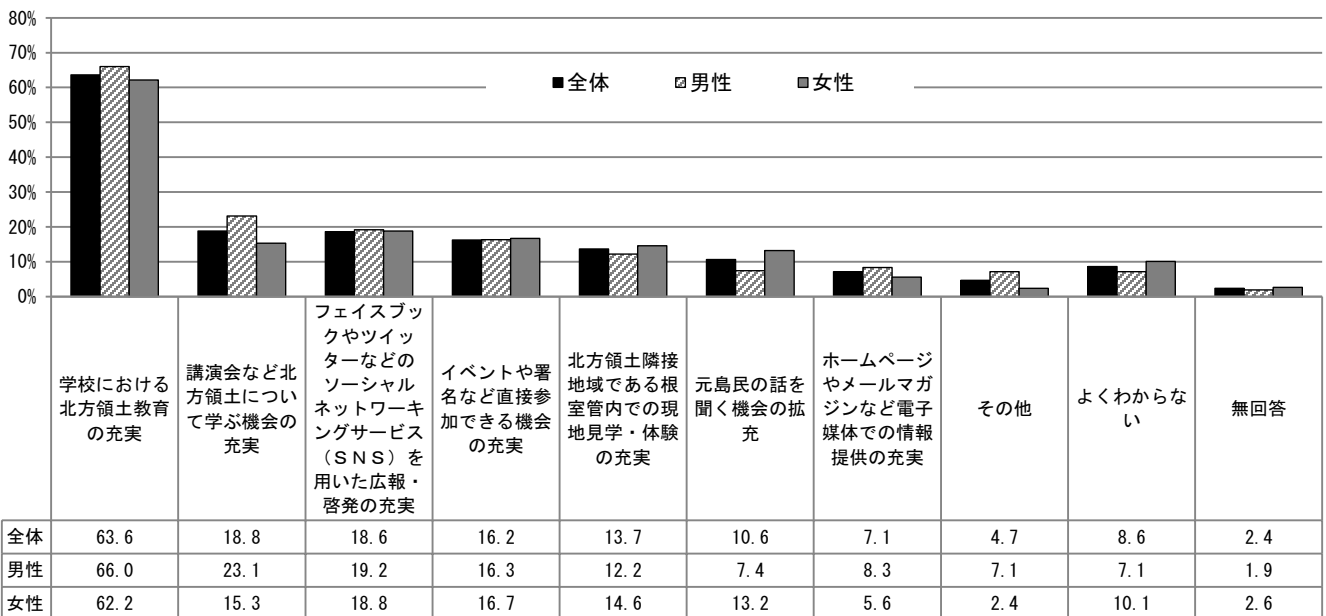
- 「学校における北方領土教育の充実」の割合は、労務職系（75.2%）が最も高く、自営業/商工サービス業（71.0%）が次いでいる。
- 「講演会など北方領土について学ぶ機会の充実」の割合は、自営業/商工サービス業（32.3%）が最も高く、無職（27.5%）が次いでいる。

居住年数別

- 「学校における北方領土教育の充実」の割合は、5～10年未満と20年以上（共に65.2%）が最も高く、1～5年未満（61.7%）が次いでいる。
- 「講演会など北方領土について学ぶ機会の充実」の割合は、1年未満（35.0%）が最も高く、1～5年未満（21.7%）が次いでいる。

3 北方領土問題について

■ 北方領土問題の若い世代に向けた重要な取組み (N=708)



	サンプル数	学校における北方領土教育の充実	講演会など北方領土について学ぶ機会の充実	イベントや署名など直接参加できる機会の充実	北方領土隣接地域である根室管内での現地見学・体験の充実	元島民の話を聞く機会の拡充	ホームページやメールマガジンなど電子媒体での情報提供の充実	フェイスブックやツイッターなどのソーシャルネットワーキングサービス(SNS)を用いた広報・啓発の充実	元島民の話を聞く機会の拡充	北方領土隣接地域である根室管内での現地見学・体験の充実	その他	よくわからない	無回答
全体	708	63.6	18.8	16.2	13.7	10.6	7.1	4.7	8.6	2.4			
圏域	道央広域連携地域	432	65.3	15.7	16.7	7.2	21.1	10.6	11.6	4.9	9.7	2.1	
	道南連携地域	52	59.6	25.0	15.4	11.5	21.2	9.6	15.4	3.8	7.7	3.8	
	道北連携地域	67	65.7	22.4	10.4	10.4	14.9	9.0	13.4	4.5	7.5	1.5	
	オホーツク連携地域	37	45.9	24.3	16.2	5.4	10.8	16.2	18.9	5.4	10.8	2.7	
	十勝連携地域	54	66.7	27.8	22.2	0.0	14.8	11.1	13.0	3.7	3.7	1.9	
	釧路・根室連携地域	44	68.2	18.2	15.9	2.3	15.9	9.1	27.3	2.3	6.8	2.3	
	無回答	22	45.5	22.7	13.6	13.6	4.5	9.1	18.2	9.1	4.5	9.1	
人口規模	札幌市	229	65.1	16.6	18.3	7.4	22.7	10.5	9.6	4.4	10.5	1.3	
	人口10万人以上の市	171	62.6	21.6	17.0	9.4	14.6	11.1	12.3	7.6	6.4	1.8	
	人口10万人未満の市	122	63.9	18.9	16.4	4.1	14.8	12.3	15.6	3.3	9.0	0.8	
	町村	117	61.5	20.5	12.8	5.1	19.7	11.1	20.5	4.3	8.5	4.3	
	無回答	69	63.8	15.9	13.0	8.7	20.3	5.8	15.9	1.4	7.2	7.2	
性別	男性	312	66.0	23.1	16.3	8.3	19.2	7.4	12.2	7.1	7.1	1.9	
	女性	378	62.2	15.3	16.7	5.6	18.8	13.2	14.6	2.4	10.1	2.6	
	無回答	18	50.0	16.7	5.6	16.7	5.6	11.1	22.2	11.1	5.6	5.6	
	年代	18~29歳	118	58.5	16.1	15.3	2.5	32.2	10.2	15.3	5.9	9.3	0.0
30~39歳		123	63.4	13.8	22.0	8.1	24.4	9.8	16.3	3.3	8.9	1.6	
40~49歳		120	67.5	12.5	15.0	5.8	20.0	10.8	8.3	6.7	10.8	1.7	
50~59歳		136	64.7	18.4	17.6	10.3	11.8	7.4	16.9	4.4	11.0	0.7	
60~69歳		116	63.8	19.0	13.8	9.5	13.8	13.8	11.2	2.6	5.2	6.0	
70歳以上		78	66.7	42.3	14.1	2.6	9.0	12.8	11.5	3.8	5.1	5.1	
無回答		17	47.1	11.8	5.9	17.6	5.9	11.8	23.5	11.8	5.9	5.9	
職業	自営業／農林漁業	21	57.1	9.5	23.8	4.8	4.8	23.8	14.3	9.5	9.5	0.0	
	自営業／商工サービス業	31	71.0	32.3	12.9	3.2	16.1	9.7	16.1	3.2	0.0	6.5	
	自由業	21	61.9	4.8	23.8	19.0	23.8	9.5	14.3	0.0	14.3	0.0	
	事務職系	179	65.9	16.2	17.9	7.3	22.3	11.2	9.5	5.0	10.1	1.1	
	労務職系	109	75.2	12.8	12.8	6.4	22.0	6.4	19.3	4.6	6.4	0.9	
	主婦	121	63.6	19.0	19.0	8.3	15.7	11.6	12.4	1.7	8.3	2.5	
	学生	31	45.2	16.1	12.9	0.0	38.7	12.9	19.4	9.7	9.7	0.0	
	無職	109	62.4	27.5	13.8	7.3	13.8	9.2	10.1	6.4	8.3	3.7	
	その他	64	53.1	23.4	18.8	4.7	15.6	12.5	18.8	3.1	12.5	1.6	
	無回答	22	45.5	18.2	4.5	13.6	4.5	9.1	18.2	9.1	4.5	18.2	
居住年数	1年未満	20	55.0	35.0	20.0	5.0	30.0	10.0	10.0	10.0	5.0	0.0	
	1~5年未満	60	61.7	21.7	23.3	8.3	23.3	8.3	15.0	1.7	3.3	1.7	
	5~10年未満	66	65.2	10.6	16.7	9.1	25.8	4.5	15.2	4.5	12.1	0.0	
	10~20年未満	98	57.1	18.4	15.3	4.1	19.4	15.3	14.3	7.1	9.2	3.1	
	20年以上	399	65.2	19.3	15.5	7.3	15.8	11.5	12.8	4.8	9.3	2.3	
無回答	65	66.2	16.9	13.8	7.7	20.0	6.2	16.9	1.5	6.2	6.2		

■ 全体の値より5ポイント以上大きいもの

問16 あなたが道や各団体が行っている啓発活動に自発的に参加するとした場合、どのような活動に参加を希望しますか。次の中から2つまでお選びください。（○は2つ以内）

全体

- 「特に参加したいとは思わない」（30.6%）と答えた人の割合が最も高く、次いで「講演会など北方領土について学べる機会」（29.9%）、「直接意志を表明できる署名」（20.8%）の順となっている。
- 最も少ない「北方領土隣接地域である根室管内の現地見学・体験」（15.7%）も15%を超えている。

圏域別

- 「特に参加したいとは思わない」の割合は、道央圏（35.4%）が最も高く、釧路・根室圏（31.8%）が次いでいる。
- 「講演会など北方領土について学べる機会」の割合は、十勝圏（48.1%）が最も高く、道北圏（35.8%）が次いでいる。

人口規模別

- 「特に参加したいとは思わない」の割合は、札幌市（39.3%）が最も高く、人口10万人未満の市（27.9%）が次いでいる。
- 「講演会など北方領土について学べる機会」の割合は、人口10万人未満の市（32.8%）が最も高く、人口10万人以上の市（32.2%）が次いでいる。

性別

- 「特に参加したいとは思わない」の割合は、男性（26.9%）より、女性（33.3%）の方が多。
- 「講演会など北方領土について学べる機会」の割合は、女性（23.5%）より、男性（38.1%）の方が多。

年代別

- 「特に参加したいとは思わない」の割合は、18～29歳（36.4%）が最も高く、40～49歳（35.8%）が次いでいる。
- 「講演会など北方領土について学べる機会」の割合は、70歳以上（60.3%）が最も高く、60～69歳（43.1%）が次いでいる。

職業別

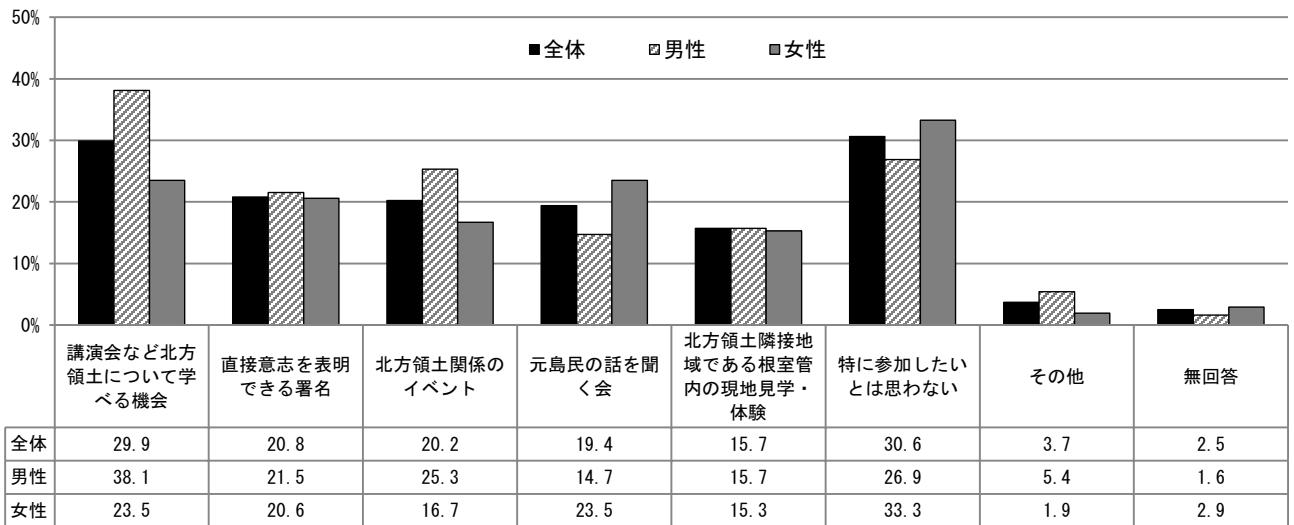
- 「特に参加したいとは思わない」の割合は、学生（41.9%）が最も高く、その他（35.9%）が次いでいる。
- 「講演会など北方領土について学べる機会」の割合は、無職（41.3%）が最も高く、自営業/商工サービス業（38.7%）が次いでいる。

居住年数別

- 「特に参加したいとは思わない」の割合は、20年以上（32.1%）が最も高く、5～10年未満（31.8%）が次いでいる。
- 「講演会など北方領土について学べる機会」の割合は、20年以上（31.8%）が最も高く、10～20年未満（31.6%）が拮抗して次いでいる。

3 北方領土問題について

■ 北方領土返還に向けた啓発活動への参加希望 (N=708)



	サンプル数	講演会など北方領土について学べる機会 (%)	直接意志を表明できる署名 (%)	北方領土関係のイベント (%)	元島民の話を聞く会 (%)	北方領土隣接地域である根室管内の現地見学・体験 (%)	特に参加したいとは思わない (%)	その他 (%)	無回答 (%)	
全体	708	29.9	20.8	20.2	19.4	15.7	30.6	3.7	2.5	
圏域	道央広域連携地域	432	27.8	19.2	18.8	20.1	13.4	35.4	3.0	2.3
	道南連携地域	52	30.8	32.7	19.2	23.1	19.2	17.3	3.8	5.8
	道北連携地域	67	35.8	26.9	20.9	19.4	14.9	22.4	4.5	1.5
	オホーツク連携地域	37	29.7	18.9	27.0	13.5	24.3	24.3	5.4	2.7
	十勝連携地域	54	48.1	22.2	18.5	20.4	25.9	18.5	5.6	0.0
	釧路・根室連携地域	44	20.5	15.9	38.6	15.9	13.6	31.8	0.0	0.0
	無回答	22	27.3	13.6	4.5	9.1	18.2	31.8	13.6	13.6
人口規模	札幌市	229	24.9	16.2	18.3	20.5	15.7	39.3	2.2	1.7
	人口10万人以上の市	171	32.2	21.6	20.5	21.1	17.5	26.3	7.0	1.8
	人口10万人未満の市	122	32.8	23.8	19.7	17.2	15.6	27.9	2.5	1.6
	町村	117	31.6	21.4	20.5	17.9	17.1	26.5	3.4	5.1
	無回答	69	33.3	27.5	26.1	17.4	8.7	24.6	2.9	4.3
性別	男性	312	38.1	21.5	25.3	14.7	15.7	26.9	5.4	1.6
	女性	378	23.5	20.6	16.7	23.5	15.3	33.3	1.9	2.9
	無回答	18	22.2	11.1	5.6	11.1	22.2	38.9	11.1	11.1
年代	18～29歳	118	16.1	17.8	27.1	19.5	15.3	36.4	4.2	0.0
	30～39歳	123	19.5	22.8	24.4	15.4	15.4	34.1	1.6	1.6
	40～49歳	120	23.3	20.0	15.0	21.7	15.8	35.8	5.0	0.8
	50～59歳	136	30.1	26.5	16.9	16.9	19.1	31.6	5.1	0.7
	60～69歳	116	43.1	15.5	21.6	25.0	9.5	22.4	1.7	7.8
	70歳以上	78	60.3	24.4	17.9	19.2	17.9	16.7	2.6	3.8
	無回答	17	17.6	5.9	5.9	11.8	23.5	41.2	11.8	11.8
職業	自営業／農林漁業	21	38.1	23.8	14.3	14.3	14.3	28.6	4.8	4.8
	自営業／商工サービス業	31	38.7	25.8	35.5	16.1	12.9	19.4	6.5	3.2
	自由業	21	19.0	38.1	23.8	33.3	23.8	19.0	0.0	0.0
	事務職系	179	26.3	17.3	25.1	19.6	14.5	33.5	3.4	1.1
	労務職系	109	30.3	18.3	20.2	16.5	18.3	32.1	6.4	0.9
	主婦	121	30.6	27.3	14.0	22.3	13.2	28.1	0.8	2.5
	学生	31	22.6	19.4	12.9	19.4	22.6	41.9	0.0	0.0
	無職	109	41.3	20.2	23.9	15.6	11.9	26.6	2.8	3.7
	その他	64	21.9	18.8	14.1	26.6	20.3	35.9	4.7	1.6
	無回答	22	22.7	9.1	4.5	9.1	18.2	31.8	13.6	22.7
居住年数	1年未満	20	30.0	0.0	30.0	35.0	30.0	25.0	5.0	0.0
	1～5年未満	60	18.3	28.3	15.0	11.7	18.3	30.0	3.3	3.3
	5～10年未満	66	21.2	28.8	22.7	15.2	10.6	31.8	6.1	1.5
	10～20年未満	98	31.6	17.3	15.3	19.4	17.3	31.6	2.0	4.1
	20年以上	399	31.8	18.8	20.1	20.6	16.0	32.1	4.0	2.3
無回答	65	35.4	29.2	27.7	18.5	9.2	21.5	1.5	3.1	

■ 全体の値より5ポイント以上大きいもの

■「北方領土問題について」の調査を終えて

北方領土問題について「よくわかっている」（12.0%）、「大まかな内容がわかっている」（51.7%）と回答された方をあわせると約6割となっており、「四島の名前がわかる程度」（22.5%）を含めると約9割となっている。

また、その関心度については、「ある」と回答された方が約6割となっているが、30歳未満の若年層（「学生」を含む。）ほど、関心が低いという結果になっている。

今後、若い世代の関心を高めるための取組については、全ての年代において「学校における北方領土教育の充実」と回答された方が最も高く、実際、若年層の7割以上が、北方領土問題を「学校の授業」で知ったと回答されている。また、若い世代に向けた取組として、若年層自身は「学校の授業」に次いで「ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）」が重要と考えていることもわかった。

こうした調査結果を踏まえ、今後とも関係団体と連携を図りながら、効果的な啓発活動、特に若年層の意識向上に向けて取り組んでいく。

（総務部北方領土対策本部北方領土対策課）